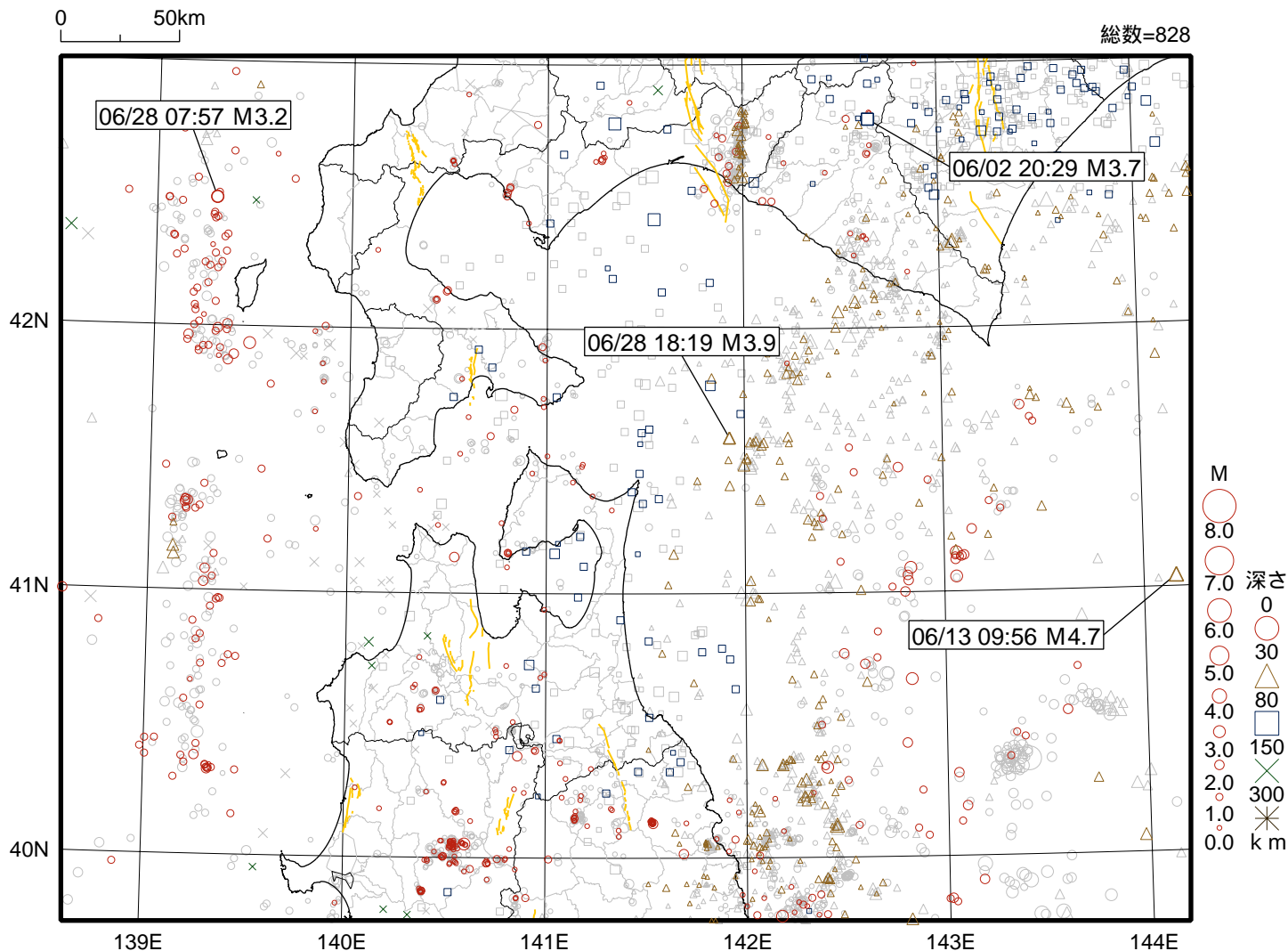


渡島・檜山地方の地震活動図

2019年6月1日～2019年6月30日

震央分布図

函館地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。

過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月(今期間を含まない)の震央を灰色のシンボルで表します。

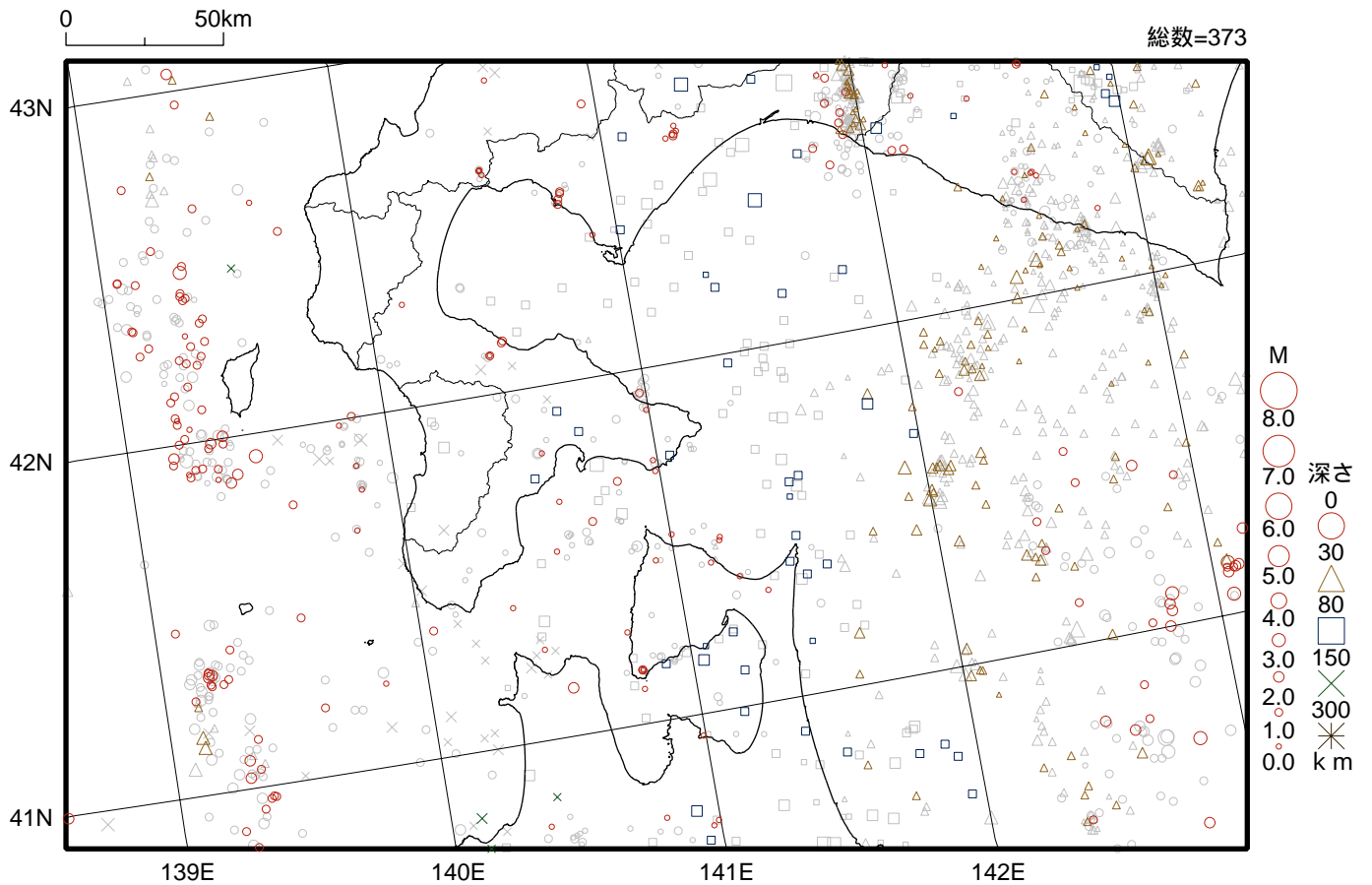
地震概況(2019年6月)

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は6回(前月は2回)発生しました(「震度1以上を観測した地震の表」参照)。

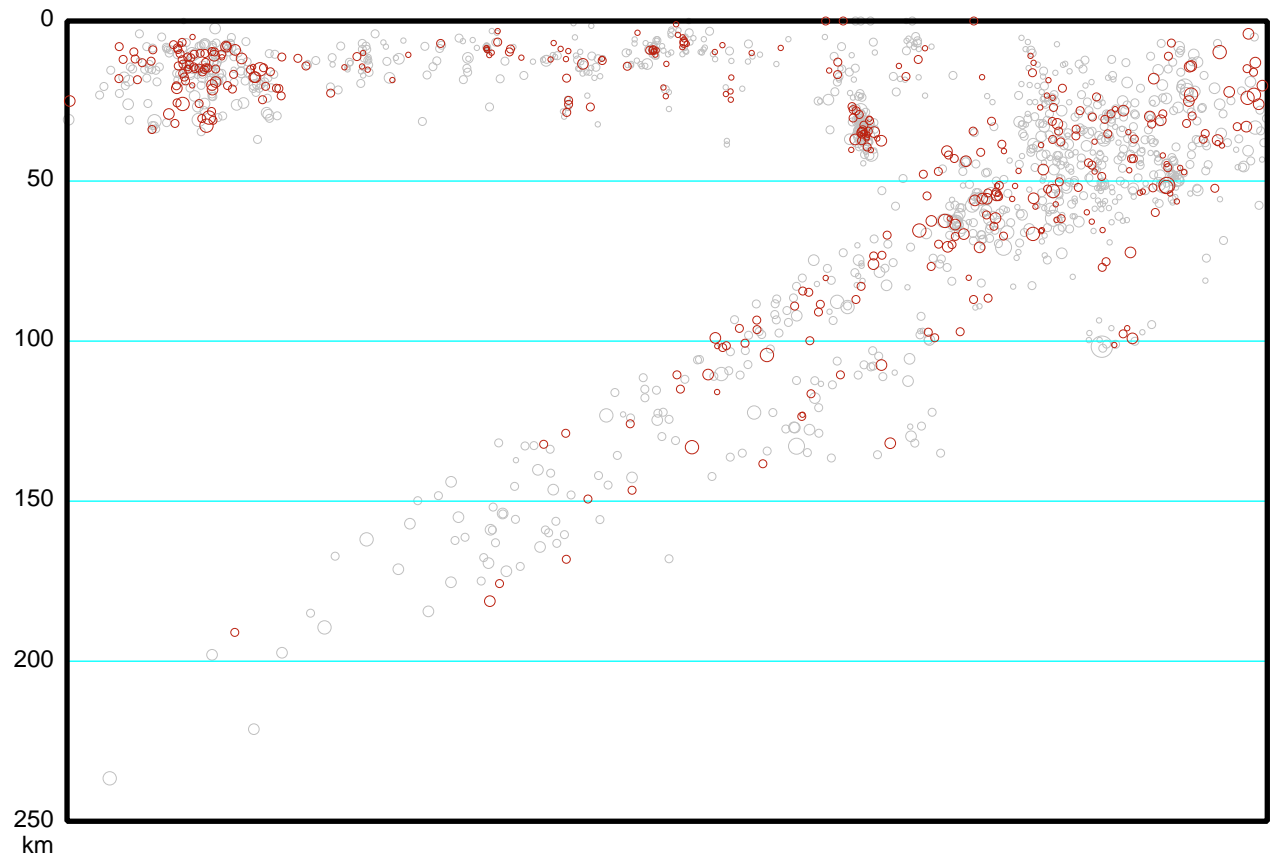
18日22時22分、山形県沖の地震(M6.7、深さ14km、震央分布図の範囲外)により、北斗市、知内町、木古内町、上ノ国町で震度2、函館市、七飯町、松前町、福島町、江差町で震度1を観測しました。

2019年6月1日 ~ 2019年6月30日

震央分布図



断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
記号Mはマグニチュードを表します。
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

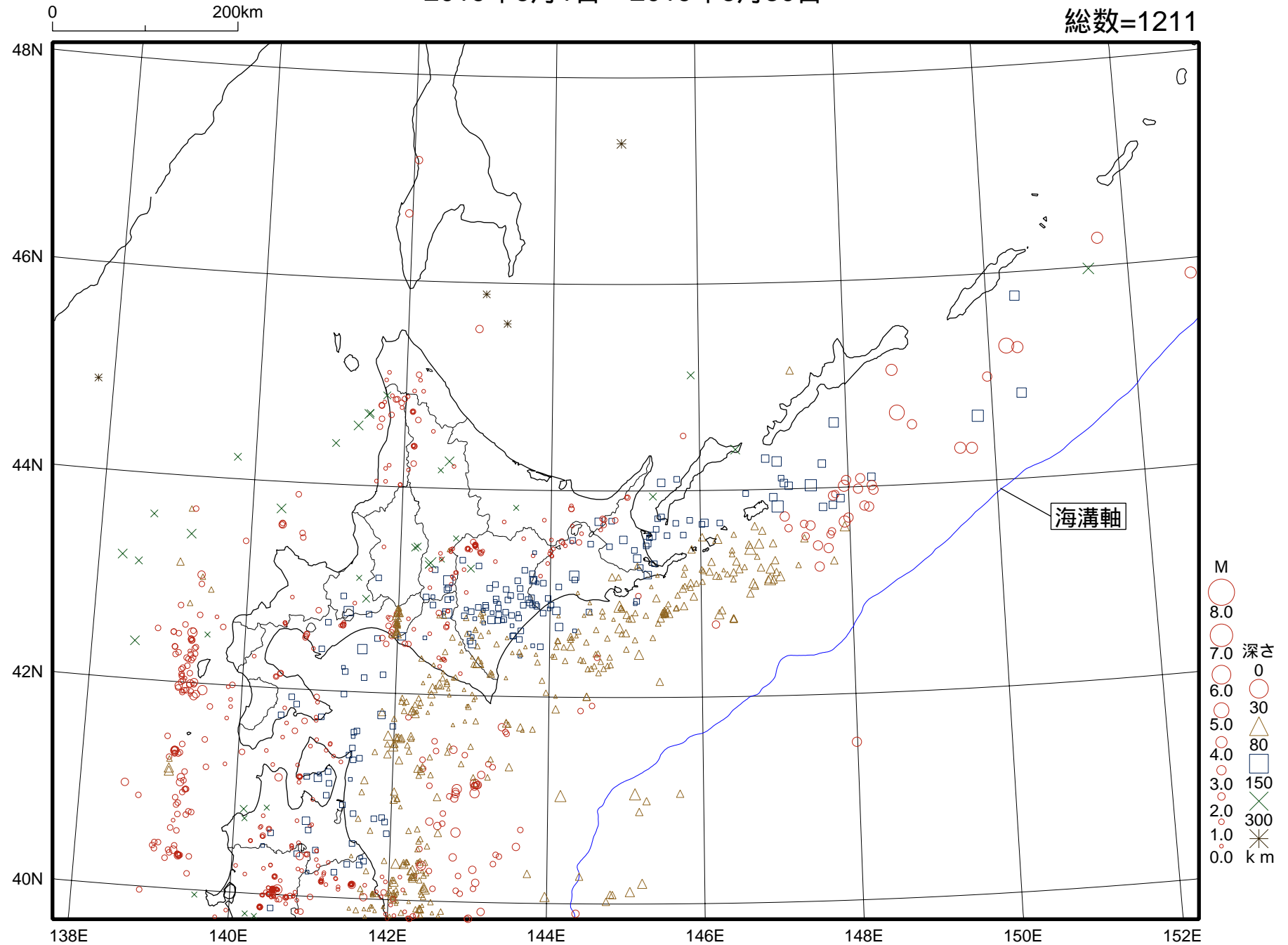
北海道の地震活動図

2019年6月1日 ~ 2019年6月30日

札幌管区気象台

総数=1211

震央分布図



震度 1 以上を観測した地震の表 (2019年6月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
2019年 6月 2日 渡島地方	20時29分 震度 1	日高地方西部 函館市泊町 * (08) 函館市新浜町 * (05)	42 ° 47.3 N	142 ° 38.6 E	87 k m	M3.7
2019年 6月13日 渡島地方	09時56分 震度 1	十勝沖 函館市泊町 * (11) 函館市新浜町 * (07)	41 ° 02.5 N	144 ° 09.7 E	63 k m	M4.7
2019年 6月18日 渡島地方 檜山地方	22時22分 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1	山形県沖 渡島北斗市中央 * (15) 知内町重内 * (15) 木古内町木古内 * (15) 函館市泊町 * (11) 函館市新浜町 * (12) 七飯町桜町(06) 渡島松前町福山(11) 福島町福島 * (12) 上ノ国町大留 * (15) 檜山江差町姥神(06)	38 ° 36.4 N	139 ° 28.7 E	14 k m	M6.7
2019年 6月28日 渡島地方 檜山地方	07時57分 震度 1 震度 1	北海道南西沖 八雲町熊石雲石町 * (09) せたな町瀬棚区北島歌 * (07)	42 ° 29.1 N	139 ° 18.3 E	26 k m	M3.2
2019年 6月28日 渡島地方	18時19分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (14) 函館市新浜町 * (08) 函館市日ノ浜町 * (06)	41 ° 35.3 N	141 ° 55.4 E	65 k m	M3.9
2019年 6月30日 渡島地方	15時53分 震度 1	上川地方南部 函館市泊町 * (06) 函館市新浜町 * (13)	43 ° 16.4 N	142 ° 24.2 E	166 k m	M4.5

各地の震度は、渡島・檜山地方のみを掲載しています。

* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

地震概況ではセントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

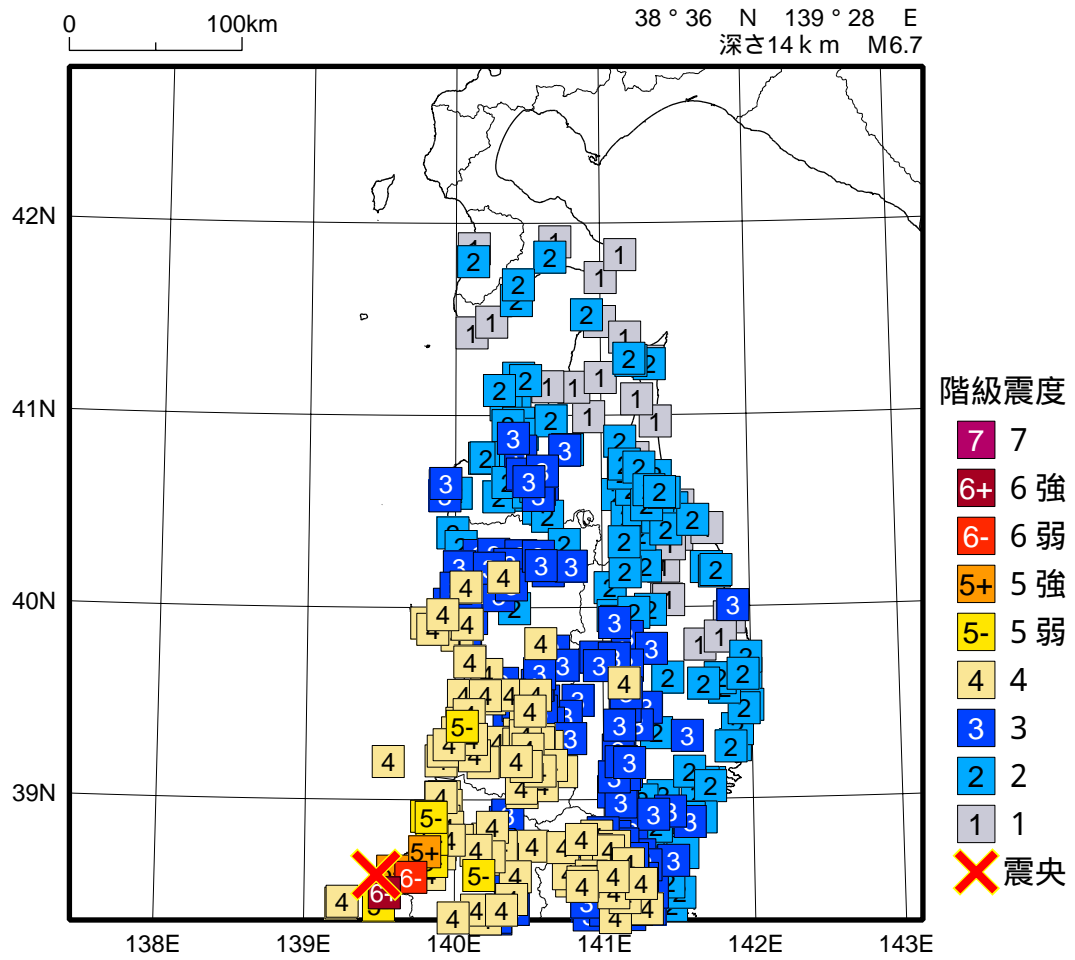
計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

2019年 6月18日22時22分 山形県沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下「津波警報等」とします。）を津波予報区単位（図1）で発表します。



図1 北海道周辺の津波予報区

1. 津波警報等で予想される津波の高さ

予想される津波の高さは、5段階の数値で発表します（図2）。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震に対しては、精度の良い地震の規模をすぐに求めることができないため、最初に発表する津波警報等では、予想される津波の高さを「巨大」などの言葉を用いて発表し、非常事態であることを伝えます。その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。

（この部分は上記の段落と重複する内容のため、ここでは省略し、図2の表を参照してください。）

	予想される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	10m 超 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	1m (0.2m≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

※大津波警報を「特別警報」に位置づけています。

図2 津波警報等の種類と取るべき行動

2. 津波警報等と避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報等が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けましょう。